

クマ被害対策の取組状況

東北森林管理局
令和 8 年 1 0 月 6 日

東北森林管理局におけるクマ被害対策パッケージ（概要）

- 東北森林管理局管内5県における令和8年度の人身被害件数は、全国の約5割を占める（R8.7末時点）
- 政府が策定した「クマ被害対策パッケージ」を踏まえ、市町村からの要望・地域との連携を基本として、以下の3つの観点から取組を実施

人の生活圏とのすみ分け

- 多様な森林づくり
- ナラ枯れ被害対策
- 緩衝林帯の整備 等

地域との連携

- 緩衝林帯の整備
- 箱ワナや電気柵の設置
へのフィールド提供 等

情報発信

- 堅果類の豊凶調査及び
情報発信
- 国有林の巡視と目撃情
報の市町村等への情報
提供
- 林業従事者の安全確保
等



人の生活圏とのすみ分け

多様な森林づくり

- ◆ クマ等の野生鳥獣の生息環境の保全に向け、針広混交林や広葉樹林へ誘導

ナラ枯れ被害対策

- ◆ 被害木の伐倒・燻蒸事業のほか、おとり丸太による誘因捕獲を実施



R8.9.10大量集積型おとり丸太(カシノナガキクイムシの誘因捕獲による面的防除)の勉強会（秋田森林管理署管内）

【取組内容】

- 広葉樹の保残に配慮した森林施業や、「緑の回廊」内や奥山などの人工林は自然条件等に応じて針広混交林や広葉樹林へ誘導していくことなどに取り組んでいる
- 自治体職員や林業関係者を対象とした「大量集積型おとり丸太(カシノナガキクイムシの誘因捕獲による面的防除)の勉強会」を開催
- ナラ枯れ被害のまん延防止に資するよう、地元自治体の要望も踏まえ、被害が拡大しやすい大径木を伐採するナラの若返り伐採を実施(岩手県八幡平市)

緩衝林帯の整備

- ◆ 下刈、除伐等を実施し、クマの隠れ場所を減少させ、偶発的な遭遇を抑止
- ◆ 民家や公道等に接している造林地や具体的なクマ出没情報等に基づき、実施



仙北市角館
下刈り作業後の状況 国道から撮影



大仙市 林内作業
一般社団法人秋田林業土木協会

【取組状況】

- 令和8年度については、盛岡森林管理署3.00ha(滝沢市)、岩手南部森林管理署2.68ha(平泉町、花巻市、西和賀町、北上市)、宮城北部森林管理署2.78ha(石巻市、大和町)、秋田森林管理署7.97ha(仙北市、大仙市)、由利森林管理署1.60ha(由利本荘市)において、合計10ヶ所18.03haで実施した
- 一般社団法人青森林業土木協会(西和賀町、北上市)、一般社団法人秋田林業土木協会(大仙市)からはボランティアによる協力をいただいた

地域との連携

箱ワナや電気柵の設置 へのフィールド提供

- ◆ 市町村の要請に基づき、箱ワナや電気柵を設置するフィールドとして国有林を提供
- ◆ 箱ワナ設置について、手続きの簡素化等も検討



青森県十和田市「十和田湖畔」の箱ワナ設置

【取組内容】

- 「箱わな設置場所提供」の実績：青森署管内八甲田山登山道付近5か所(5基)、三八上北署管内十和田湖畔敢湖台展望台付近2か所(2基)、米代西部署管内風の松原地内2か所(2基)
- 箱ワナ設置については、入林届の提出や緊急時には事後届出により、事務手続きを簡素化

情報発信

堅果類の豊凶調査及び 情報発信

- ◆ブナの開花や結実状況を引き続き調査し、その結果を公表
- ◆市町村へ情報提供し、クマの出没傾向や対策の参考に



雌花



雄花



結実

【取組内容】

- ブナ開花状況と結実予測については、7月7日付けで公表（青森県：並作、岩手県、宮城県、秋田県、山形県：豊作の予測）
- ブナ結実調査結果については、開花状況と同様、調査終了後に各署から各市町村へ情報提供するとともに公表予定

国有林の巡視と 目撃情報の市町村等への情報提供

- ◆ 住民の生活圏と近接する国有林を巡視し、クマの出没を確認した場合には、速やかに市町村等へ情報共有



R8.7.6八甲田山系での青森県・青森市・国による合同パトロール

【取組内容】

- 人身事故があった八甲田山系等で、県・地元自治体・国による合同パトロールを実施し、登山者等へチラシを配布し注意喚起を実施
- 目撃情報の提供実績
 - ・盛岡署2件(矢巾町、雫石町)
 - ・上小阿仁支署1件(北秋田市)
 - ・庄内署1件(酒田市)
 - ・最上支署3件(鮭川村)

(別添2) クマに遭遇しないために

【林野庁】

皆さんの現場は、クマの生息域です。常に、近くにクマがいるかもしれないと注意しながら作業しましょう。

林業の現場では、特に**冬から春にかけて「巣穴付近での被害」が発生**しています。

**クマ類が生息している山林で作業する際は、
以下の事項について注意願います。**

- ① 単独行動を避け、鈴やラジオなど音の出るものを携帯し、人の存在を知らせてください。
クマ撃退スプレーの携行も推奨されます。
- ② 混合油などの燃料は、クマの誘引物とされています。
給油場所、保管場所では周囲に注意を払ってください。
- ③ 弁当等の食品管理を徹底してください。
※においの漏出を防ぐため、丈夫なプラスチックや金属製のフードロッカーの利用も検討してください。
- ④ 岩陰や乗り越える尾根の先などの見通しの悪い場所では、クマと突発的に遭遇する可能性があるため、手前で立ち止まって大きな声を出すなどにより安全を確認してください。
- ⑤ 冬から春先にかけては、倒木、岩穴や木の根上がり等の空洞といった巣穴（冬眠穴）として利用しそうな場所には、不用意に近づかないでください。

巣穴の例（撮影：佐藤嘉宏）



倒木の根元



樹洞



樹洞

「遭遇した場合」については裏面へ

※クマ撃退スプレーについては、クマ撃退スプレーの基本的な性質や用途、安全上の留意点を整理し、環境省が公表した「クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件(令和8年8月)」を参照願います。



詳しくは、環境省作成マニュアル
「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー」
を参照願います。



画像の無断使用・転載を禁止します。

クマ類に遭遇した際にとるべき行動

(1) 遠くにクマがいることに気がついた場合

落ち着いて静かにその場から立ち去ります。

(2) 近くにクマがいることに気がついた場合

クマを見ながらゆっくり後退する、静かに語りかけながら後退する、など落ち着いて距離をとるようにします。

慌てて走って逃げてはいけません。

(3) 至近距離で突発的に遭遇した場合

攻撃を回避する完全な対処方法はありません。

クマは、顔面・頭部を攻撃することが多いため、両腕で顔面や頭部を覆い、直ちにうつ伏せになるなどして重大な障害や致命的ダメージを最小限にとどめることが重要です。

(4) 親子グマとの遭遇

子連れのクマと遭遇した場合、速やかにその場から離れることが必要です。

(5) クマ撃退スプレーによる撃退

クマの目や鼻・のどの粘膜にスプレーが当たるよう、顔に向かって噴射することが重要です。

射程距離は 5 m 程度と短い製品が多いため、十分クマを引き付けてから噴射する必要があります。

クマと遭遇した際の正しい対処法については、環境省作成マニュアル「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー」等で確認ください。